



一般質問

9月定例会



9月4日～6日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。(掲載は次ページからになります。掲載の順番は質問順です。)

掲載内容は、一般質問および答弁内容の一部を抜粋し、各議員が作成した原稿を基に編集委員会において確認し編集しております。

なお、正副議長につきましては、任期中は申し合わせにより一般質問は行わないこととしております。

市政運営と子育て支援について



吉越利明議員

問 公共交通事業において令和5年度監査報告で指摘がある。乗合タクシーでの課題は。

答 令和元年度と比べると乗合タクシー利用者が2097人の減。率にすると3割以上の減少となっている。利用者数と比較すると運行経費の負担が大きいことが課題。

問 他の自治体での公共交通DX事業を参考に、利用者の利便性向上や事業の効率化に向けて取り組んでみてはどうか。

答 他の自治体の事例を参考にしつつ、市民と交通事業者との理解を得ながら、利便性の向上とコスト抑制のバランスに留意し、今後進めて行きたい。

問 給食費無償化については市長公約である。保育園でのご飯の提供においても各園にて試行されている。段階的に進められている給食費負担軽減を、来年度において小中学校の給食費と保育園給食費の無償化実施に取り組んではどうかと考えるが。

答 私は学校の給食費無償化は国費で賄うべきものだと考えており、市町村が負担すべきだという考えは持っていない。

調停と駅前ホテル・地域エネルギー・国体準備



松本淳一議員

問 駅前ホテルの必要性をどう考えているか。

答 これからの地域発展に重要な役割を果たすものでありホテルは必要と考える。市民も期待している。

問 調停で合意したホテル建設計画はどのようなものか。

答 「4階建て、補助金は3億6千万円、健康増進施設なし、開業時期を2年伸ばす」で合意した。

問 4階建てとなった理由は。

答 市の基準を守るよう要望し調停の過程で4階が示され双方が合意した。

問 補助金3億6千万円の理由は。

答 資材の高騰に対し調停委員会より建設費の2割増額が示され、合意した。

問 エネルギー地産地消の取り組みをどう考えるか。

答 公共施設への再生エネルギー導入を検討している。エネルギー地産地消も研究する。

問 令和10年国民スポーツ大会の整備状況は。

答 ジャンプ台の基本設計に着手。整備に係る概算費用は12億円程度と試算している。

市民と議会との意見交換会を開催

飯山市議会では令和2年度に飯山市議会基本条例を制定し、市民の意見を議会運営の改善や政策提言に反映させることを目的に、意見交換会を実施しています。

◆飯山市消防団

10月19日、飯山市消防団との意見交換会を行いました。消防団から主な課題として、団員のなり手不足や人口減少があげられ、団員減少を補うため、退団者に機能別消防団への参加を呼びかけている現状が報告されました。また子育て世代として人口減少対策が課題とされ、奨学金の充実を図り、若者が飯山に戻りやすくする施策が提案されました。

それぞれの課題について具体的な解決策を模索する必要性を改めて確認しました。



出澤消防団長あいさつ

◆飯山市芸術文化協会

10月23日、飯山市芸術文化協会との意見交換会を行いました。

同協会は今年で40周年を迎え、長年にわたり芸術文化の推進に取り組んできた現状を伺いました。

しかし近年は会員の減少が進み、活動に支障をきたしているという実情や、活動拠点としている各施設の利用に課題があることもお聞きしました。

このような現状から、協会の今後の活動方針や支援のあり方について、意見交換を行いました。

◆地域おこし協力隊

11月5日、飯山市で活動している地域おこし協力隊との意見交換を行いました。スポーツ、農業、健康増進、

情報発信や観光など、飯山市の抱える課題に意欲的に取り組む熱い思いをお聞きました。

今後はより一層その活動を広く市民の方に知っていただくとともに、市外はもとより世界へと飯山市の魅力を発信してほしいとエールを送りました。任期が終わっても引き続き飯山市で活躍していただきたいと思います。



地域おこし協力隊との意見交換会

駅前ホテルと認知症について



西澤一彦議員

問 市長は行政の手続き不備でホテル建設補助金は執行しかねるとしていたが、民事調停となり、調停条項案に合意した。内容が縮小されたが、補助金は3億円から3億6千万円に増額、健康増進施設の削除の理由は。

答 調停委員会の提案および現在の状況を踏まえた中で調停条項案に合意した。

問 市長は駅前ホテルは必要と言われ、疑問点を指摘するだけで、市民に向けて何のためのホテルなのか構想を語る必要があると考えるが。

答 飯山駅の利用客増加が見込まれる。ビジネス客やインバウンドの受け皿になり、周辺飲食店や商業施設の利用で経済効果が生まれ、賑わいや雇用の創出につながる。

問 今後認知症の方はますます増加する。キャラバンメイクトの方が寸劇を通じて、学校等で啓発活動をされているが、まだ実施できていない学校もあるとのこと。今後の対応は。

答 認知症の正しい理解を促す啓発活動は重要。校長会を通じて、各学校に協力を依頼する。

駅前ホテル問題について



山崎一郎議員

問 「事務手続きが適切でなかったから補助金の執行は出来かねる」が、市長が決めた市の方針であるのに、どのような理由で出すことにしたのか。

答 執行出来かねるとした時にはそのような認識であったが、調停委員との議論の結果条項案に示された内容を総合的に判断し、これに合意したと考えたからだ。

問 「補助金は出さないとしたのに、市長の鶴の一声で一転3億6千万円も出すというこのぶれようは、行政としてあまりにもいい加減としか言いようがありません。」との投書があった。また、「3億円の補助で8階建てのホテルが出来たのが、4階建てになったのに6千万円も補助金を増額することは、すべて市長の責任に起因することであり、納税者である市民は納得出来ません。」との投書に市長はどう答えるのか。

答 そのような気持ちになれる市民がいることは理解できる。しかし、そのような意見にくみするわけにはいかないのが行政である。

駅前ホテル・公式LINE活用・下高井農林存続



村松正勝議員

問 民事調停とはどのようなものか。

答 双方の意見を調停委員会が聞き公平な立場から解決を図るもの。両者が同席して話し合いをするものではない。合意に至れば確定判決と同じ効力を持ち法的拘束力を持つ。やり取りした内容についてはお互いに外部に開示してはならない。

問 市長は駅前ホテルについて前行政の継続を考慮したか。

答 行政全て一つ一つの積み重ねで継続している。全てご破算にしているという事はない。

問 飯山市公式LINEの活用は研究されているか。

答 公式LINEは災害等緊急情報に特化して配信したい。アンケートや各種申請等は、

ぴったりサービス等を利用していくことで調整している。

問 下高井農林高校の存続を育委員会定例会で、高校再編に関する基準等の再検討のための検討の場について4点示された。下高井農林高校存続も含めて、この地域の4市村が連携を図り足並みをそろえて行く必要があると考えている。

一般質問

**地域医療を守る
取り組み・子育て、不登校支援**

常田徳子議員

問 飯山赤十字病院の経営悪化を心配する市民の声がある。市民として病院を支援する方法はあるか。

答 医療スタッフの状況を理解しスタッフへの感謝を伝えて欲しい。どのように病院を支えていけるか市民の皆さんと共に考える場づくりを検討したい。

問 学童クラブ等へDX推進の一環として、お弁当の予約システムを取り組むことはできないか。

答 研究、検討することを期限を切って取り組みたい。

問 有機米あるいは特別栽培米の提供が可能であればまずは、保育園の温かいご飯提供時に利用してはどうか。

答 市内で生産された有機米あるいは特別栽培米が十分に提供してもらえれば予算要求も検討したい。まずは保育園から考える。

問 フリースクールが飯山市で開設されると聞いたが、市として何を期待するか。

答 子ども達の選択肢が増えることは望ましいことであると捉えている。

**5年度決算
マイナカードと
保険証の一本化**

小林喜美治議員

問 岸田首相は、総裁選への出馬を断念し政権を投げ出した。次期政権の行方は少なからず市民生活や市政運営に影響するが市長の認識についてうかがいたい。

答 政治で一番大事なことは信頼だと思う。信頼を積み上げていくことが大事。飯山市も信頼できる行政にしていきたい。

問 令和5年度決算について、江沢市政の一年間を通じて検証されるものであるが、市民生活との関係でどう評価しているか。

答 令和5年度の決算では、施策に要した費用はそう多くなく、最低の経費で実現できたこと、有効な支出をした結果の決算だと思っている。

問 現行の保険証が12月2日以降廃止され、マイナカードと二本化されるが、マイナカードをもたない国保加入者に確実に「資格確認書」が届くのか。

答 お手元の保険証が有効期限を迎える前に、申請することなく資格確認書を交付する予定です。

絵本と駅前ホテル、台風19号災害記録集を問う

山崎武雄議員

問 おでかけとしょかんや絵本マルシェの開催状況についてお尋ねする。

答 5月の菜の花公園では173人、7月の道の駅では57人の参加者がありました。

問 「えほんコミュニケーター」の養成講座とはどのような取り組みであるか。

答 絵本の魅力を地域に発信し、絵本で人と人を結び付けていたただける人材を育成するため、この10月から講座を開催するものです。

問 駅前ホテルにおいて大切なことは飯山市の発展である。そのために民事調停で双方が妥協したのである。市長の考えをお尋ねする。

答 そういう意味で妥協というのは非常に大事な要素ではあると思うが、調定委員会という司法機関が間に入っていることは結果として良かった。

問 台風19号災害記録集のパブリックコメントに寄せられた市民からの意見や写真などを掲載してはいかがか。

答 記録集として反映できるものはできるだけ掲載してまいります。

駅前ホテル事業と市報（広報飯山）について

高澤富士子議員

問 審議の判断材料として、市が議会に提示したものは「調停条項案」以外にあるか。

答 私（市長）の調停処理経験、また組織として経験があれば、どう相談できるかに思いも至ったかもしれない。批判ではないが議会からもご指導いただけたかった。

問 今まで調停に関しては非公開と言いつながら、今になって適切な場があれば説明をすると言つ。なぜか。

答 変わっているといえば変わっている。

問 補助金交付を中断した理由の一つ「業者選定の過程にあったとされる不備」について解決されていないのはなぜか。

答 協定書や各種の決めごととは生きている。提案された3億6千万に随うつもり。

問 市内在住の子どもたちの活躍をもっと市報でとりあげてはどうか。

答 ぜひ担当までお知らせいただきたい。

問 市報のウェブ閲覧について告知不足と思うが。

答 今後しっかりと対応していきたい。

**長野県特別豪雪地帯
指定市町村議会協議会**

10月16日、特別豪雪地帯指定市町村の正副議長で構成される協議会の総会が木島平村で開催されました。11月8日には長野県知事および県議会議長に対し、特別豪雪地帯への対策の充実強化について要望活動が行われました。

**令和6年12月定例会
会期日程（予定）**

- ◆ 招集 12月2日(月)
- ◆ 議案上程 12月3日(火)
- ◆ 一般質問 12月11日(水)～13日(金)
- ◆ 各常任委員会審査 12月16日(月)～18日(水)
- ◆ 委員長報告・採決 12月23日(月)

総会であいさつする協議会長の渋谷議長



一般質問

飯山駅前ホテル建設について

高橋春三議員

問 従前の行政事務執行を適切でないとした有識者懇談会。市長は調停案をもってホテル建設を目指すことを、市民にどのように説明するか。

答 ①調定条項案に至る経緯②ホテルの必要性③条項案の内容の3点を説明して、ご理解をいただきたいと思う。

問 市長は当初、議会の駅前ホテル調査検証特別委員会に職員を出席させない判断をしたが、その理由は。

答 一般市民等の傍聴は原則認められない、との公開のあり方が理由。

問 地方自治法、市議会基本条例、委員会条例に一般公開の主旨が感じられる。開かれているとは言いがたい委員会に、その後職員をなぜ出席させたのか。

答 今後の議会の議案審査に影響を及ぼさないためです。

問 特別委員会の報告書はネットでも公開されたが、特別委員会から掲載のための内容確認はあったか。

答 委員会で発言した職員は3人。うち1人は発言の確認を求められたと聞いている。

観光・駅前ホテルについて

高橋達幸議員

問 現在飯山市宿泊施設環境整備事業で上限100万円の補助金制度があるが、インバウンド客対策のリフォームは多額の費用がかかる。上限金額の上乗せをした補助金制度を設立し、行政で支援しては。

答 新たなインバウンド対策補助金制度含めてニーズに応じた内容の精査をしていく。

問 現在県道曾根藤ノ木線において、トピアホールから南へ、小境地区までの歩道設置にしているが、トピアホールから北へ、今井地区までの間を引き続き県にお願いするにあたり、市長を会長に期成同盟会を新たに設立し、県に強く要望して頂きたいが。

答 地元から設立に向けた要望があれば検討していきたい。

問 調停条項案の、普通の4階建てのホテルに補助金3億6千万円支払う内容で合意したが、駅前ホテル補助金交付要綱の趣旨に該当する評価点が得られるのか。

答 そのようなことを踏まえて調停案が示されたと理解している。

5年度決算評価と駅前ホテル調停条項案

上松永林議員

◆令和5年度決算

問 5年度末執行の予算は。

答 飯山駅前ホテル関連で1億6千5百万円、犯罪被害者等支援事業152万円、市勢要覧作成事業100万円等。

問 令和4年度決算と比較して歳入の増は、繰越金と地方債である。今後の財政運営の状況は。

答 地方債の増加は約1億円。大型事業が続くので将来負担の抑制を図り安定した財政運営に努めたい。

◆ホテル調停条項案

問 市長の感想は。

答 調停の内容は説明出来ないで心苦しく思っている。

問 プロポーザル審査委員会の評価を求めるべきでは。

答 意見聴取は考えていない。

問 補助金の履行は、市の事務執行が適正であった事の証明になるのではないか。

答 適正でなかった。認識は変わらない。

問 「行政の不備」を示し担当職員の責任を問うべきでは。

答 検証の場で職員は意見交換してきており必要ない。職員を処分する考えはない。

**城北小教員加配通学路の安全
空き校舎利活用**

荻原章一議員

問 城北小の統合時において、教職員の手厚い配置が重要。特に保健室は子どもたちの心の安定に大切な場所。市費独自の配置で複数人体制を取る必要があるが。

答 現段階では、業務が忙しくなる時期の雇用については検討したい。人的配置については、市もできる限り配慮した配置を今後考えていきたい。

問 安全対策のために新校舎周辺の道路以外の整備も必要と考える。クマ対策で山林の刈り払いにより緩衝帯を設けることは市の方針。学校近隣を優先して実施すべき。

答 児童の登校における安全確保をしっかり行っていく。場所によつては、地主の方に所有する木の伐採などもお願いすることになる。

問 統合後の4小学校校舎利用について。地域の関心が高まっているこの時機を逃さないように方針提示を。

答 早期に利活用の方角性について示したい。地域などからの意見をお聞きする機会について、計画性を持って速やかに進めていきたい。

駅前ホテル関係と行政の進め方を市長に問う

佐藤正夫議員

問 市長は口ではホテルは必要だと言っているが、一連の動きからはそうは思えない。委員会でも業者側から真摯な話し合いは無かったと聞いた。

答 ホテルは必要だと思っている。業者とは水面下の交渉であり内容は明かせない。

問 ホテル関係を含め事業執行を進めるうえで、庁内議論や決裁文書が無いと聞く。そんなことで行政執行をすることがあってはならないことだ。市長の独裁であり許されない。

答 私は市長は行政機関と関わっているでその批判は当たらない。すべての決裁文書があるかと聞かれれば、一部の決裁文書はあると思うが、いちいち確認はしていない。

問 調停委員会より勧告された調停条項案を議会に承認してもらったための努力はどのように進めるつもりか。細部の説明が無ければ審議できない。黙って印を押せとのことか。

答 調停条項案の文書を全協に提出した。議会の冒頭挨拶や質問の中で説明しているつもりだが、調停の交渉内容は相手があるので明かせない。